

2019年度量子ビームサイエンスフェスタ (第11回 MLF シンポジウム / 第37回 PF シンポジウム) 開催のお知らせ

PF シンポジウム実行委員会委員長 野澤俊介
MLF シンポジウム実行委員会委員長 松浦直人

2019年度量子ビームサイエンスフェスタ(第11回 MLF シンポジウム/第37回 PF シンポジウム)を2020年3月12日(木)~14日(土)の日程で開催する予定となりました。会場はザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県立県民文化センター)です。

このシンポジウムは、施設側スタッフ、ユーザーの皆様が一堂に会することのできる機会ですので、是非ご参加下さいませよう願ひ申し上げます。

詳細が決まり次第ホームページやPFニュース等で皆様にお知らせ致します。

PF 研究会「X線分光理論の新展開:構造・電子状態解析から磁性研究まで」開催案内

富山大学理工学研究部 畑田圭介

日本はアメリカと並び世界トップクラスの数の放射光施設を備え、ユーザーの数も多いが、理論研究の面ではアメリカ、イタリアが伝統的に先行し、それに続きイギリス、オランダ、日本が続いている。理論計算プログラムはアメリカで開発されたFEFFが世界シェアを持っており、他にも海外で開発された計算プログラムが主に使われている。科学の進歩には実験と理論の両輪の進展が重要であるという歴史的事実を踏まえ、この現状を改善し、国内での理論研究並びに理論解析を発展させるために、国内外のシンクロトロン放射光分光理論研究者を集め研究会を開く。多重散乱理論の専門家である畑田と実験並びに理論を研究する宮永、岡林が主催者となり、XANES及びEXAFSの理論、さらには磁性研究の発展に資するXMCDの理論も含め、国内外の理論研究者に講演を依頼する。多重散乱理論、多重項、分子軌道法的手法、さらに定性的理解に着目したモデルハミルトニアン等についても議論する。また、計算プログラムによるチュートリアルも行う。理論研究者のみならず、放射光を利用した実験研究者に対しても示唆に富む研究会を目指す。

<開催概要>

開催日: 2019年10月3日(木)~4日(金)

開催場所: 高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパス

小林ホール

特別招待講演: Dr. Didier Sébilleau

(CNRS-Université de Rennes 1)

Prof. Gerrit van der Laan

(Diamond Light Source)

提案代表者: 畑田圭介(富山大学理工学研究部)

宮永崇史(弘前大学理工学部)

岡林潤(東京大学大学院理学系研究科)

所内世話人: 雨宮健太, 阿部仁

ホームページ: 準備中。PFのホームページよりリンクされます。

申込方法: 公開予定のホームページからお申し込みください。

問い合わせ先: 研究会事務局(pf-kenkyukai@pfqst.kek.jp)

PF-UA タンパク質結晶構造解析グループ(PX-UG) 第四回タンパク質結晶構造解析ビームライン 中級者向け講習会 ~ 初中級者ユーザーが聴きたいこと ~ 開催のお知らせ

PF-UAのタンパク質結晶構造解析ユーザーグループ幹事が主催する第4回中級者講習会ですが、今回は「初中級者ユーザーが聴きたいこと」をテーマとしています。具体的なテーマですが、「全自動測定について」「新しいPDBのフォーマットについて」「X線結晶構造解析とクライオ電顕の両方を使った構造生物学」といった項目で経験豊かな講師陣がお話しします。また、「精密化の終わりをどう決めているか」をパネルディスカッションで議論したいと思っています。さらに、初中級者を対象に実習形式として皆さんが持ち寄ったPCを使用して「Cootの高度な使い方」について演習を行います。参加者のレベルやニーズに応じてどの項目に参加していただいても構いません。皆様奮ってご参加ください。

日時: 10月31日(木)

会場: 東京大学(本郷キャンパス内; 詳細は決まり次第HP等でお知らせします。)(<http://research.kek.jp/group/pxpfug/>) / (<https://pf-form.kek.jp/tanpaku/>)

参加費: 無料

懇親会参加費: 学生1000円 ポスドク以上2000円

(講習会参加登録, 懇親会参加登録の仕方もHP等でお知らせします。)

持ち物: ノートパソコン(Wifi接続機能が必要です。サポート期間内のものであればOSは問いません。)

プログラム:

13:30~13:35 初めの挨拶 海野昌喜(茨城大)

- 13:35 ~ 14:00 全自動測定で出来ること、出来ないこと
山田悠介（高エネ研）
- 14:00 ~ 14:20 全自動測定を活用した DNA ものづくり
近藤次郎（上智大）
- 14:20 ~ 15:00 PDBx/mmCIF フォーマットと今後のデータ
検証方針
栗栖源嗣（阪大）
- 15:00 ~ 15:15 Coffee Break
- 15:15 ~ 15:45 パネルディスカッション
司会；藤橋雅宏（京大）
～ 構造精密化はいつ「完了した」と言える
のか～
- 15:45 ~ 16:15 転写伸長複合体の構造生物学
～ X線とクライオ電顕を組み合わせて～
江原晴彦（理研）
- 16:15 ~ 17:45 【演習】Coot のちょっと便利な使い方
真板宣夫（徳島大）
- 17:45 ~ 17:50 終わりの挨拶 千田俊哉（高エネ研）
- 18:10 ~ 懇親会

問い合わせ先：PX-UG 代表

茨城大学大学院理工学研究科・量子線科学専攻 海野昌喜
電話 0294-38-5041

Email masaki.unno.19@vc.ibaraki.ac.jp

— 講習会のご案内 — CUPAL 放射光利用技術入門コースの後継

CUPAL KEK 事務局

これまで実施してきました Nanotech CUPAL（文科省補助事業）の後継として、2019年度は独自の初級／中級の講習会を行います。従来同様、年2回の開催を予定しています。また今回からは大学院生以上の参加者に旅費の補助が出来るように企画中です（企業参加者は除く）。只今プログラムの準備を進めていますので、日程と内容が決まりましたら、改めて PF NEWS やメールでお知らせいたします。

Website： <http://cupal.kek.jp/>

お問合せ：CUPAL KEK 事務局, kek-cupal@pfiqst.kek.jp

なお、CUPAL の中核機関である産総研、NIMS、筑波大学、京都大学もそれぞれ独自に後継事業に取り組んでいますので、ご興味のある方は下記のサイトをぜひ一度ご覧ください。

【産総研】 <https://unit.aist.go.jp/tia-co/CUPAL/index.html>

お問合せ：AIST TIA 推進センター, Nanotech-cupal-ml@aist.go.jp

【NIMS】 <https://www.nims.go.jp/cupal/index.html>

お問合せ：NIMS CUPAL 事務局, nanotech_cupal@nims.go.jp

【筑波大】 <https://tia-edu.jp/>

お問合せ：筑波大学 TIA 推進室, tia-edu@un.tsukuba.ac.jp

【京都大】 <http://www.nanoplat.cpi.kyoto-u.ac.jp/business/>

お問合せ：京大 CUPAL 事務局, cupal@nms.me.kyoto-u.ac.jp

Photon Factory Activity Report 2019 ユーザーレポート執筆のお願い

PFACR 2019 編集委員長 小野 寛太（KEK 物構研）

Photon Factory では、施設の活動報告の一環として毎年 Photon Factory Activity Report (PFACR) を公開しております。これは当該年度に実施された実験課題の結果報告集（ユーザーレポート）であり、広く国内外に配布し PF の研究活動についてお伝えしています。皆様のご協力をもちまして 2018 年度 (PFACR2018) の編集作業は順調に進み、2019 年秋には公開される予定です。

2019 年度版である PFACR2019 の受付を開始しております。つきましては、皆様が 2019 年度に PF で行われた研究の成果をユーザーレポートとしてお送り下さるようお願い申し上げます。2019 年 4 月から 2020 年 3 月までに実施された実験について寄稿して頂くのが基本ですが、データの解析に時間を要する等が考えられますので、期間前の実験結果についての報告も歓迎しています。このユーザーレポートは、2014 年度より共同利用実験課題の終了届を兼ねることになりましたので、課題責任者は一課題につき一報以上をご提出することが求められています。

PFACR は PF が研究活動に関して評価を受ける際の重要な物差しの一つであり、皆様の寄稿は PF におけるユーザー支援、ひいては皆様の研究環境の改善に繋がります。積極的にご執筆頂ければ幸いです。

ユーザーレポートの原稿や電子ファイルの準備・投稿要領は PFACR2019 のホームページ（英語ページ：<https://www2.kek.jp/imss/pf/eng/science/publ/acr/2019/acr-submission-en.html>、日本語ページ：https://www2.kek.jp/imss/pf/science/publ/acr/2019/acr_submission_jp.html）に掲載しておりますのでご覧ください。執筆は英語もしくは日本語でお願いします。

<ユーザーレポート提出締切：2020 年 6 月 30 日（火）>

防災・防火訓練のお知らせ

放射光実験施設 防火・防災担当
野澤俊介・松岡亜衣

高エネルギー加速器研究機構の本年度の防災・防火訓練が **2019 年 11 月 27 日（水）午後** に実施されます（実施日が天候不良等で延期の場合 2019 年 12 月 3 日（火）午後

に実施されます)。

訓練では、緊急地震速報が発令された場合の対処、地震発生後の機構指定避難場所 (PF ニュース裏表紙参照) への避難・誘導、避難場所での職員・ユーザーの安否確認、対策本部への報告等を行います。訓練当日は PF、PF-AR ともにユーザー運転を予定しており、ユーザーの皆様にも実験を中断して訓練に参加していただく必要がございます。また、訓練の際は MBS を閉じさせていただきますので、約 1 時間実験ができなくなります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

東日本大震災が発生した日はその日の朝に運転が終了し、実験ホールにはユーザーの方はあまりいらっしゃいませんでしたが、これまで毎年ユーザーの皆様にもご協力いただき訓練を行っていたこともあり、ユーザー・職員は訓練どおりに避難し、安否確認なども迅速に行うことができました。実験装置の転倒、落下等の被害はあったものの、幸いにして人的被害が全くなかったことは、日頃のユーザーの皆様の方の防災意識と、毎年の防災・防火訓練に起因していると確信しております。

PF では多くのユーザーが閉じられた空間で実験を行っており、放射線や化学薬品、高圧ガスなども扱っていますので、非常時には迅速な対応が取れるよう、訓練が極めて重要と考えております。一人でも多くの方に参加していただけますようご協力をよろしくお願い致します。

2020 年度前期共同利用実験課題公募について

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所の放射光科学研究施設 (フォトンファクトリー) は、電子蓄積リングから放出される放射光を用いて研究を行うための全国共同利用研究施設です。

一般 (G 型)、特別 2 (S2 型)、大学院生奨励 (T 型) の次回の公募は 10 月上旬から受付開始し、締切は 11 月中旬を予定しております (低速陽電子実験施設の共同利用実験課題を併せて公募します)。緊急かつ重要 (U 型)、予備実験・初心者 (P 型)、特別 1 (S1 型) については随時受付をしています。

申請は専用 Web ページ (<https://pmsweb.kek.jp/k-pas>) にアクセスして、必要事項を入力して下さい。これまで PF を利用されていない方は新規にユーザー登録が必要になりますので、余裕を持って申請ください。締切時間は Web システムで設定されており、少しでも締切時間をすぎますと受け付けられなくなりますので十分ご注意ください。2 月に審査結果の速報が電子メールで送られる予定です。採択された課題は 2020 年 4 月に有効となり、実験が開始できます。

公募要項は「実験・研究公募要項 (放射光共同利用実験)」 (<https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html>) をご覧下さい。PF のホームページ「PF で放射光利用実験を行うには (利

用プログラム)」 (<https://www2.kek.jp/imss/pf/use/program/>) にも詳細を掲載しています。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

研究協力課 共同利用支援室 共同利用係

Tel: 029-864-5126 Fax: 029-879-6137

Email: kyodo1@mail.kek.jp

2020 年度前期 フォトンファクトリー研究会の募集

放射光実験施設長 船守展正

物質構造科学研究所放射光実験施設 (フォトンファクトリー) では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて 1~2 日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間 6 件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願い致します。

記

1. 開催期間 2020 年 4 月~2020 年 9 月
2. 応募締切日 2019 年 12 月 20 日 (金)
[年 2 回 (前期と後期) 募集しています]
3. 応募書類記載事項 (A4 判, 様式任意)
 - (1) 研究会題名 (英訳を添える)
 - (2) 提案内容 (400 字程度の説明)
 - (3) 提案代表者氏名, 所属及び職名 (所内, 所外を問わない)
 - (4) 世話人氏名 (所内の者に限る)
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名, 所属及び職名
4. 応募書類送付先 (データをメールに添付して送付)
放射光実験施設 PF 秘書室
Email: pf-sec@pfqst.kek.jp TEL: 029-864-5196

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します (1 件当り上限 30 万円程度)。開催日程については、採択後に PAC 委員長と相談して下さい。また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員会
放射光科学第一・第二研究系 安達 成彦, 阿部 仁
加速器第六研究系 上田 明

今年度の KEK 一般公開は 9 月 1 日(日)に開催されます。普段は見ることのできない施設や装置が多数公開となるほか、第一線で活躍する研究者による講演、こども向け体験コーナーなど、様々な企画を用意しております。

PF では、今年がメンデレーエフの周期律発見 150 周年であることを受けて、「周期表」をテーマに展示を行います(UNESCO が 2019 年を国際周期表年として宣言しています)。実験ホールでは、周期表に記された元素が、物質や生命をどのように作るのか、物質や生命の中でどのように働くのかを調べる機器について、以下のラインナップで展示と説明を行います。(1) 生命の謎を解き明かせ! タンパク質結晶構造解析ステーション、(2) 宝石探しに挑戦! X線蛍光マッピング、(3) 帰ってきた! 元素鑑定団、(4) 物質と生命を科学する! 物構研コーナー、(5) 限定公開! 新型ビームラインの見学ツアー(*10 時開始の武市助教のサイエンスカフェで入場券を配布します)。それぞれの分野で、最先端の研究機器をご覧頂けます。実際のビームライン機器を使った放射光実験の解説など、楽しく見て触って学べる展示を PF スタッフ一丸となって準備中です。また、昨年に引き続き、PF 加速器リングの公開を今年も行います。1 周 187 メートルの加速器リングに整然と並ぶ電磁石群や挿入光源などの実物を見学することが可能です(* 公開時間は 10:00 ~ 12:00 と 13:00 ~ 15:00)。

PF では放射光だけでなくそれ以外の物構研の研究紹介も行う予定で、中性子・ミュオン・低速陽電子それぞれのビームを利用した研究や、J-PARC MLF の解説などを行います。例年通り入口でクイズ用紙をお配りし、クイズに正解した方に周期表をイメージした缶バッジを 1 つ進呈します。PF と J-PARC MLF との連携企画として、8/25 の J-PARC 施設公開で MLF に掲示されるクイズの答えを PF にお持ちいただくと、今年の缶バッジ全 5 種類が入ったコンプリートセットを進呈。そのうち 1 種類は MLF と PF 両方の公開を訪れた方しか入手できない限定デザインです。また、研究本館には、PF 実験ホールでの公開の様子を写すモニターを設置します。

講演は、放射光第二研究系の小野寛太准教授による「周期表 150 周年～レアメタルってココがすごい!～」(時間は 11:15 ~ 12:00、場所は研究本館小林ホール)ほか 3 件が予定されています。また、参加者も研究者と議論したり実験に参加できるサイエンスカフェとして、同じく放射光第二研究系の武市泰男助教による「色つきめがねでモノをみる」(時間は 10:00 ~ 10:45、場所は職員会館 1 階パーティールーム)ほか 3 件が予定されています。その他にも、霧箱教室、おもしろ物理教室、多摩六都科学館の出張工作教室、科学おもちゃで遊ぼう!なども準備中です。お子さ

んからお年寄りまで楽しめるような企画が盛り沢山ですので、放射光ユーザーの皆様も普段とは異なる KEK を楽しんでいただけたと思います。ご家族、ご友人お誘い合わせの上、KEK 一般公開にお越し頂きますよう職員一同心よりお待ちしております。

一般公開当日は、つくばセンター(つくばエクスプレス「つくば駅」下車すぐ)と KEK 間の無料送迎バスが運行されます。自家用車でお越しの方は、KEK 内に臨時駐車場を設置しておりますので直接 KEK までお越しください。KEK 構内の移動には無料の巡回バスがご利用いただけます。KEK 一般公開に関する詳しい情報は <https://www.kek.jp/openhouse/2019/> をご参照ください。物構研の一般公開 2019 特設サイト (<https://www2.kek.jp/imss/news/2019/topics/openhouse/>) も随時更新中です。

1. 日時: 2019 年 9 月 1 日(日) 9:00 ~ 16:30

2. 公開施設: フォトンファクトリー, SuperKEKB 加速器, 先端加速器試験棟(ILC-ATF), 筑波実験棟(Belle-II 測定器)・展示室, 超伝導リニアック試験施設棟(STF), 計算科学センター, 超伝導低温工学センター, 機械工学センター, 放射線科学センター, コッククロフトウォルトン型加速器など

3. 展示: 理論展示とクイズラリー, 物構研展示, ILC 緑日, T2K ニュートリノ振動実験, J-PARC, ATLAS 実験

4. 講演(研究本館 小林ホール):

◇ 10:00 ~ 10:45 森田洋平(沖縄科学技術大学院大学(OIST) 准副学長)

「『日本初』のホームページと KEK の科学広報黎明期」

◇ 11:15 ~ 12:00 小野寛太(KEK 物質構造科学研究所 准教授)

「周期表 150 周年～レアメタルってココがすごい!～」

◇ 13:30 ~ 14:15 山本康史(KEK 加速器研究施設 准教授)
(タイトル未定)

◇ 14:45 ~ 15:30 長野邦浩(KEK 素粒子原子核研究所 准教授)

「ヒッグスはどこまでわかったか～LHC と ATLAS のさらなる挑戦～」

5. サイエンスカフェ(職員会館 1F パーティールーム(旧 KEK 売店)):

◇ 10:00 ~ 10:45 武市泰男(KEK 物質構造科学研究所 助教)

「色つきめがねでモノをみる」

◇ 11:15 ~ 12:00 道前武(KEK 加速器研究施設 助教)

「まーまーまーっすぐ加速する」

◇ 13:30 ~ 14:15 中村克朗(KEK 素粒子原子核研究所 助教)

「見えない粒子を見つける Belle II 測定器」

◇ 14:45 ~ 15:30 山内正則(KEK 機構長)

「宇宙の 4 つの謎」

6. その他の主な企画: KEK 子ども科学相談, 霧箱教室, おもしろ物理教室, 理論クイズ王決定戦, 量子色力学カー

ドゲーム, KEK 古本市, 多摩六都科学館の出張工作教室,
科学おもちゃで遊ぼう!, 総研大コーナーなど。

予 定 一 覧

2019 年

- | | |
|-----------|--|
| 9月 1日 | KEK 一般公開 (KEK) |
| 9月 10～13日 | OHO' 19 セミナー (KEK) |
| 9月 11～12日 | PF 研究会「BioSAS が拓く生体高分子の分子間相互作用解析の最前線」(4号館セミナーホール) |
| 10月 3～4日 | PF 研究会「X線分光理論の新展開: 構造・電子状態解析から磁性研究まで」(小林ホール) |
| 10月 21日 | PF 2019年度第二期ユーザー運転開始 |
| 10月 28日 | PF-AR 2019年度第二期ユーザー運転開始 |
| 10月 31日 | 第四回タンパク質結晶構造解析ビームライン中級者向け講習会～初中級者ユーザーが
聴きたいこと～(東京大学本郷キャンパス) |
| 11月 27日 | 防災・防火訓練 |
| 12月 12日 | PF, PF-AR 2019年度第二期ユーザー運転終了 |
| 12月 20日 | 2020年度前期フォトン・ファクトリー研究会応募締切 |

2020 年

- | | |
|-----------|---|
| 1月 10～12日 | 第33回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム(ウインクあいち) |
| 3月 12～14日 | 2019年度量子ビームサイエンスフェスタ/第11回 MLF シンポジウム/
第37回 PF シンポジウム(水戸市・ザ・ヒロサワ・シティ会館(茨城県立県民文化センター)) |

※最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> をご覧下さい。

第 33 回日本放射光学会年会・ 放射光科学合同シンポジウム開催要項

1. 開催日 2020 年 1 月 10 日(金), 11 日(土), 12 日(日)

2. 場所 ウィンクあいち (愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38)

3. 主催 第 33 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム組織委員会

共催 日本放射光学会(主幹), 名古屋大学シンクロトン光研究センター, 大阪大学蛋白質研究所, 科学技術交流財団あいちシンクロトン光センター, 九州大学シンクロトン光利用研究センター, 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所・放射光実験施設, 高輝度光科学研究センター, 佐賀県立九州シンクロトン光研究センター, 佐賀大学シンクロトン光応用研究センター, 産業技術総合研究所分析計測標準研究部門, 自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設, SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC), SLiT-J ユーザーコミュニティ, 東京大学物性研究所軌道放射物性研究施設, 東京大学放射光分野融合国際卓越拠点, 東京理科大学総合研究院赤外自由電子レーザー研究センター, 日本原子力研究開発機構, 日本大学電子線利用研究施設, 光科学イノベーションセンター, 兵庫県立大学 New SUBARU, PF ユーザーアソシエーション, 広島大学放射光科学研究センター, VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会, UVSOR 利用者懇談会, 理化学研究所放射光科学研究センター, 立命館大学 SR センター, 量子科学技術研究開発機構 次世代放射光施設整備開発センター

4. 組織委員会 ([]は推薦団体, ()は所属機関, ○は委員長)

稲田康宏[放射光学会会計幹事(立命館大)], 今園孝志[量研機構], 江島丈雄[SLiT-J], 小田島肇[光科学イノベーション], 郭其新[佐賀大], 木村真一[年会会計担当, VUV・SX 懇, UVSOR 懇(阪大)], ○組頭広志[組織委員長(東北大)], 解良聡[プログラム委員長, 副実行委員長, 分子研], 香村芳樹[理研], 小島一男[立命館大 SR], 小杉信博[日本放射光学会会長], 櫻吉晴[JASRI], 島田賢也[HiSOR], 杉山武晴[九大], 妹尾与志木[SAGA-LS], 曾田一雄[実行委員長(名大)], 竹田美和[副実行委員長, AichiSR], 田中清尚[副プログラム委員長(分子研)], 田中秀明[阪大蛋白研], 田中義人[SPRUC], 築山光一[東京理科大], 土井玲祐[原子力機構], 豊川弘之[産総研], 早川恭史[日大], 伏信進矢[PF-UA], 船守展正[KEK-PF], 宮崎誠一[副実行委員長(名大)], 矢治光一郎[東大物性研, 東大放射光分野融合国際], 渡邊健夫[兵庫県立大]

5. プログラム要綱

- ・ 10 日午後に総会, 各賞の受賞講演を開催予定です。
- ・ 11 日夕方に懇親会を開催予定です。
- ・ 企画講演, オーラルセッションは 11 日, 12 日に行う予定です。
- ・ ポスターセッション, 企業展示, 施設報告は 11 日, 12 日に行う予定です。

6. 参加費・懇親会費

参加費

区分		11月30日 までに支払	12月1日以降 (現金での支払いを お願いいたします)
一般	放射光学会員	6,000円	7,000円
	共催団体(特別賛助団体)会員・職員	7,000円	8,000円
	共催団体(上記以外)会員・職員	8,000円	9,000円
	非会員	12,000円	13,000円
学生	放射光学会員	3,000円	4,000円
	共催団体会員	3,000円	4,000円
	非会員	4,000円	5,000円

懇親会費

区分		11月30日 までに支払	12月1日以降 (現金での支払いを お願いいたします)
一般		6,000円	7,000円
学生		3,000円	4,000円

- ・ 発表申込時に参加登録を一緒に行っていただきます。その際、参加費および懇親会費の支払いの手続きも行ってください。事前の支払いは、クレジットカード払い、銀行振込が可能です。手続きの方法は、参加登録開始後放射光学会ホームページ上(<http://www.jsrr.jp>)でご確認ください。なお、参加をキャンセルされた場合の返金はいたしません。
- ・ 参加登録のみの場合も、同じく学会ホームページからできるだけ事前に行ってください。
- ・ 11月30日までに事前に支払手続きを行わない場合は、12月1日以降の参加費を現地受付でお支払いください。
- ・ プログラム(冊子)は当日現地受付にてお渡しいたします。また、予稿集はWeb公開のみです。(12月上旬公開予定、一つのPDFファイルにまとめたものもご用意いたします)。11月30日までに支払を済まされた方には、公開時に閲覧のためのパスワードを送付いたします。会場には無線LANが届かない部屋もありますので、予めダウンロードいただくことをお勧めいたします。なお、会場でも貸出用USBメモリーから、ご自分のPCにコピーすることができます。

7. 発表者資格

- ・ 日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムの一般講演・ポスターの発表者(登壇者またはポスターの発表の場合は説明者)は、共催団体の会員か職員に限ります。
- ・ 発表を希望される方で、発表申込み時点で発表者資格を有しない方は、発表当日までに資格を取得する必要があります。
- ・ 発表者が共催団体の会員・職員である場合は、共同発表者の中に上記の資格を満たさない方が含まれていても差し支えありません。

8. 発表申込について

・受付開始:2019年9月2日(月)

・申込締切:2019年10月2日(水) 17:00 厳守

申込方法:日本放射光学会ホームページ(<http://www.jsrr.jp>)を通して、発表申込、予稿集原稿提出、参加申込を行ってください。

- ・ ネットワークトラブル回避の為、締切日直前の申込みはなるべく避けて下さい。
- ・ 発表形式:オーラルとポスターがあります。希望される発表形式を選択して下さい。
- ・ 発表番号通知:2019年11月上旬に日本放射光学会ホームページ上で公開いたします。

9. 予稿集原稿について

- ・ PDFファイルで作成の上、発表申込の際に投稿してください。
- ・ 原稿形式 発表1件につき、予稿は1/1ページ(A4/縦置き)です。
- ・ A4(縦長)に下記の要領で文字を打ち込み、原稿を作成して下さい。
 - ①用紙の余白/上2.5 cm, 下1.5 cm, 左右2.5 cm
 - ②1行目左端… 実験を行った施設名(12ポイント)
 - ③2行目中央… 表題(18ポイント)
 - ④3行目… 空ける
 - ⑤4行目中央… 著者名・所属(14ポイント)
 - ⑥5行目代表著者のメールアドレス(E-mail: …の形式;14ポイント)
 - ⑦6行目… 空ける
 - ⑧7行目… 本文(14ポイント)
- ・ 文字化けを避けるために必ずフォントを埋め込んでファイルを作成して下さい。

10. プログラムの掲載

- ・ プログラムは、11月上旬に日本放射光学会ホームページ上に掲載いたします。
- ・ 日本放射光学会誌「放射光」第32巻6号(2019年11月末発行予定)に掲載いたします。

11. 企画講演の公募

前回と同様に、会員全体から企画講演を公募します。企画講演の形式や応募先・締切等は以下を参照ください。

- ・ 時間配分:趣旨説明を含めて全体で90~160分の企画講演を4枠公募します。
- ・ 企画の提案者には、講演の最初に趣旨説明と会期終了後の報告書の提出をお願いします。
- ・ 応募先:第33回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム事務局(jsr2020@jsrr.jp)宛に電子メールで、①企画講演タイトル、②提案理由(200字程度)、③講演者および時間配分を明記し、応募してください。
- ・ 応募締切:2019年8月28日(水) 9:00

12. 会場へのアクセス、交通のご案内

詳細は、ウィンクあいちのホームページ(<https://www.winc-aichi.jp/access/>)をご覧ください。

○電車をご利用の場合

(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より

- ・ JR名古屋駅桜通口から : ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ・ ユニモール地下街5番出口から : 徒歩2分
- ・ 名駅地下街サンロードから : ミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワー

- の各ビル地下街を経由、徒歩 8 分
- ・ JR 新幹線口から : 徒歩 9 分

○JR(東海道新幹線)をご利用の場合

- ・ 東京駅から:約 97 分
- ・ 新大阪駅から:約 51 分

○お車・駐車場をご利用の場合

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約 6 分

【駐車場入り口】 ウィンクあいち西側(ミッドランドスクエア側)にあります。

※原付・自動二輪車の駐車および駐車場から台車の利用はできません。

○飛行機をご利用の場合

中部国際空港 — 名鉄名古屋駅(名鉄空港線:約 30 分) — ウィンクあいち(徒歩:約 5 分)

運転スケジュール(Sep. ~Dec. 2019)

E : ユーザー実験 B : ボーナスタイム
 M : マシンスタディ T : 立ち上げ
 MA : メンテナンス HB : ハイブリッド運転

9月		10月		11月		12月	
PF	PF-AR	PF	PF-AR	PF	PF-AR	PF	PF-AR
		1(火)		1(金)		1(日)	
		2(水)		2(土)		2(月)	
		3(木)		3(日)	E	3(火)	HB (6.5GeV)
		4(金)		4(月)		4(水)	B (6.5GeV)
		5(土)		5(火)		5(木)	M
		6(日)		6(水)	B (5GeV)	6(金)	
		7(月)		7(木)	M	7(土)	
		8(火)		8(金)		8(日)	HB
		9(水)		9(土)	E (5GeV)	9(月)	E (6.5GeV)
		10(木)	STOP	10(日)	E	10(火)	
		11(金)	STOP	11(月)		11(水)	B (6.5GeV)
		12(土)		12(火)		12(木)	
		13(日)		13(水)	B (6.5GeV)	13(金)	
		14(月)		14(木)		14(土)	
		15(火)		15(金)		15(日)	
STOP	STOP	16(水)		16(土)		16(月)	
		17(木)		17(日)	E (6.5GeV)	17(火)	
		18(金)	T/M	18(月)		18(水)	
		19(土)	T/M	19(火)		19(木)	
		20(日)		20(水)	B (6.5GeV)	20(金)	
		21(月)		21(木)	M	21(土)	STOP
		22(火)	E	22(金)		22(日)	STOP
		23(水)	B	23(土)		23(月)	
		24(木)	M	24(日)	HB	24(火)	
		25(金)		25(月)	E (6.5GeV)	25(水)	
		26(土)	T/M	26(火)		26(木)	
		27(日)	E	27(水)		27(金)	
		28(月)		28(木)	MA	28(土)	
		29(火)		29(金)	HB	29(日)	
		30(水)		30(土)	E (6.5GeV)	30(月)	
		31(木)	B (5GeV)			31(火)	

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<https://www2.kek.jp/imss/pf/>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<https://www2.kek.jp/imss/pf/apparatus/schedule/>)をご覧ください。